

2018年版

市長コラム集



市広報誌「広報こおりやま」に毎月掲載

市長コラム (2018年1月号に掲載)

市長コラム はじまり

先月の当コラム欄でご報告しました、エッセン市との覚書締結につきまして、クーフェン市長をはじめ、関係者の皆さまにお越しいただき、滞りなく終了いたしました。(関連8ページ)

クーフェン市長には、市議会議場においてスピーチもしていただき、本市にとって歴史的な1ページを刻みました。(内容は市ウェブサイトをご覧ください。)



締結式においては、私の決意表明として、次の通りご挨拶(当日は英語通訳付き)申し上げました。

郡山市長 一都市間協力に関する覚書締結時の挨拶一

締結式にあたり、クーフェン市長、内堀知事、ビュートフNRW州経済局長、オッケンフェルト独大使館書記官をはじめ多数の方にご臨席いただき光栄に存じます。私は、県のご支援のもと8月末に訪独し、クーフェン市長と「再生可能エネルギーおよび医療機器関連産業分野における連携・交流」について、確認いたしました。また、エッセン市と共に「EU国際都市間協力プロジェクト」にも採択されました。

エッセン市は、ドイツの戦後経済を支え、産業発展の礎を築いたすばらしい地域であり、常に世界へ成功事例を発信している都市であります。今後は、覚書に基づき、両市の連携・交流をさらに進めて参ります。締結までの関係団体の皆様方のご支援・ご協力に対し、心から感謝申し上げます。両市の友情がさらに深まり、未来志向で互恵関係が構築できるよう、努力を惜しまないことを誓います。

市長コラム (2018年2月号に掲載)

市長コラム 天井棧敷の客

1月8日、郡山市民文化センター大ホールで、交響曲第九番 二短調 作品125「合唱付」を聴きました。指揮者は、我が本名徹次先生。隠岐彩夏さん(S.)、中島郁子さん(Ms.)、小原啓楼さん(T.)、福島明也さん(Bar.)が友情出演。オーケストラは、郡山市民オーケ



ストラと高校生有志。合唱は、みんなで歌う第九の会と中学生・高校生有志の皆さん。私は、最上階の最後部席で聴かせていただきました。目を閉じると、まるで1階のS席で聴いているようで、ホールの音響にニンマリ。

音楽的感想を述べるほどの知見はなく、以下は第九を聞くたびの非音楽的な感想をいくつか。かねてよりの疑問。

どなたかご教示いただければ幸いです。

- ・「合唱付」でない第九は、あり得たか？
- ・初めに合唱ありきか？それとも作曲途中で合唱付を思いついたのか？
- ・「合唱」部分は、シラーの詩以外にあり得ないのか？
- ・ベートーベンの合唱想定人数は？
- ・楽譜作成の所要日数(時間)は？
- ・客席聴衆も一緒に、歓喜の歌の合唱はいかが？



▲みんなで歌う第九の会パンフレット

第九は、音楽のフランス革命、音楽のビッグバンでした！

市長コラム (2018年3月号に掲載)

市長コラム 私の2011.3.11

大震災直前は県外の在来線車中。午後2時47分に列車停止。やっとたどり着いたホテルで見た津波の映像は、今でも鮮明に記憶に残っています。12日夕方、友人の車で郡山に帰還しましたが、福島県に入ると道路のうねり、破損は目を見張るばかり。

13日からは市内巡り。「全体を見よ」とは、阪神・淡路大震災発生直後に淡路島を一周し、ただならぬ地



震であることを認知したある郵便局長の話から学んだ教えですが、この地震でも真実。右記の写真①はその当時の記録です。

その後は放射線問題。県の要請で、来県の知人が郡山市にも立ち

寄り、路面の放射線量を測定してくれました。写真②は、その折の置き土産です。市内の各高校には、浜通りから避難した生徒が大勢おり、最大の被害者は子どもたちでありました。

夏には、太平洋沿岸の被災地を見舞い方々視察。「これからの最重要事は何ですか？」との問いに、「教育だね。」と答えたのは旧知の立谷相馬市長でした。

同年9月21日には、台風15号による災害も発生。古川ポンプ場のフェンス上部にバケツが引っかかり、また、周囲の住宅地で床上浸水で濡れた畳を干す様子は被害の大きさを物語っていました。

天災は忘れる前にやってくる昨今、文字や映像、現物は残せるだけ残して、備えの糧として参りましょう。



①4/21付ボランティア活動保険加入カードと、3/16付被ばくスクリーニング検査証



②放射線量測定器

市長コラム (2018年4月号に掲載)

市長コラム 楽譜と楽音

作曲コンクールの審査方法が、譜面審査と公開演奏による審査から、純粋な譜面審査に変更されるそうです。これは、演奏状態による曲の評価に差が出ないようにするためとのこと。入賞作品は、後日演奏付きで紹介されるそうです。



音楽の評価は、演奏についても難しい点がありますね。その日の天候や聴く人の心と体の状態、鑑賞する会場や座席の位置も評価に影響します。全員一致・常時一致は、厳密に言えばあり得ないかもしれません。その点でスポーツは分かりやすく、共通

の評価が得やすいようです。

音楽では、演奏の聴取時点と採点時点の時差により、評価は分かれるかもしれません。オーケストラで言えば、マイク・スピーカー経由と直接の音との時差聴取とも言えましようか。一方スポーツは、演技の瞬間に即時の評価が可能です。

また、音楽では、審査員ごとの評価点や評価項目別の採点は示されず、ランキングだけが示される場合がありますが、体操やフィギュアスケートなどのスポーツでは、審査員と項目別採点などの定量的・定性的評価の双方が示されます。文学や論文審査においても、審査員個々の評価が公表されます。

平昌オリンピック・パラリンピックでは、名プレーがノーカット動画でツイートされました。音楽演奏でも同様に、聴衆がタイムリーに「いいね！」する時代が訪れるのではないのでしょうか？

市長コラム (2018年5月号に掲載)

市長コラム 本

「本を読むのは、何よりもまず人間であり続けるためです」。これは、ある新聞のコラム※で、すぐ目に飛び込んだ一文です。戦乱の地シリアで、がれきの中から本を掘り出して「秘密の図書館(今は無いようです)」を作った青年の言葉です。過酷な現実^{かんげうじゆうどう}に感情をすり減らした人々が、自己を保ち、未来を思い描くために本を読んだそうです。



「戦場のメリークリスマス」という映画がありましたが、戦場の図書館もあったのです。晴耕雨読の優雅な生活での本との出会いもありますが、切羽詰まったときや心の支え

を求めるとき、あるいは五里霧中のときの運命の出会いも良くあることです。書評に載った本を求めて書店の棚を探し、その隣にある本のほうが実はもっと欲しかった本であることもまたしばしば。

大型書店や古書店のほか、版元では品切れの良書を置く書店もある郡山は、本好きにはありがたい街です。医療機関が多いため、医学書を数多く常備している書店もあります。もちろん音楽関係の図書も。汗牛充棟の書店も。

5月の連休に行楽遠出もよいでしょうが、フレッシュマンにはぜひ、仕事のガイドブックを探しての書店散歩も、よき心の遠出としてお勧めします。もちろん、中央図書館の「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」で150万曲の音の読書をするのも良いかもしれません。

※4/3付け朝日新聞「天声人語」

市長コラム (2018年6月号に掲載)

市長コラム 「十選」24年

連休中、懸案だった宇津峰山駐車場(地元の皆さんから舗装して欲しいとのご要望あり)を訪問しました。山道の風情に合った整備状況で、工夫の跡が伺われました。良い機会だったので、その先の登山道(谷田川コース)に挑むと、途中に「水とふれあう名所十選。御井戸の清水」との道標があり、やがてせせらぎも聞こえてきました。史料によると、南北朝動乱の際、南朝方の武将の飲料水だったそうです。



ご要望のおかげで知った「十選」は、市政施行70周年(1994年)記念行事の一つとして、市民の皆さんの応募の中から選定※1されたものです。



▲「十選の水」位置図

- ① 銚子ヶ滝(熱海町石筵)
- ② 菅滝(湖南町福良)
- ③ 大滝溪谷(逢瀬町多田野)
- ④ 藤田川(喜久田町堀之内)
- ⑤ 五十鈴湖(開成山公園)
- ⑥ 弁天池(麓山公園)
- ⑦ 湖南七浜※2(猪苗代湖)
- ⑧ 清水池(逢瀬町多田野)
- ⑨ 子和清水(西田町丹伊田)
- ⑩ 御井戸の清水(田村町谷田川)

十選の地も、はや24年。天地による水、天地人による水とさまざまですが、人知人手の及ぶ限り、未永く後世に伝えて参りましょう。野の花とともに。



※1 選定は、郡山市制施行70周年記念事業実行委員会(委員長は藤森英二郡山市長)によります。
 ※2 七浜は、浜路浜、横沢浜、館浜、舟津浜、舟津公園、青松浜、秋山浜

市長コラム (2018年7月号に掲載)

市長コラム 時間の配当 ※1

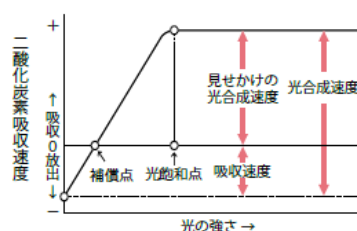
このコラムは横書きです。しかし、編集者からは縦書き原稿用紙が届きます。広報こおりやまも縦横混在。日本語はまさに縦横無尽(碍)です。縦と横のみならず文字も漢字、カタカナ、平仮名と三種類の組み合わせ。アルファベット使用の外国語と比べると表現は楽なような難しいような、です。しかし、子どもたちは、コトバ学習が更に質量ともに増加します。正式には2020年からですが、移行期間として



英語、プログラミング学習が始まります。子どもたちのご苦労を察するべく、子ども新聞を公務として読んでいます。

最近では「見かけの光合成速度＝光合成速度－呼吸速度」なる方程式

を見かけました。※2 (子ども新聞です!) これを表すグラフ(右図参照)も載っています。BTB溶液なんて言葉も記されていました。さらに全国紙のコラムが



▲新聞に掲載されたグラフ

読解力テストの例文です。連載マンガや小説の感想はメールで、とアドレスも記載されています。もう既に、子ども新聞は新学習指導要領、電子教科書を先取りしています。

子ども以上に大変なのは、先生方です。子どもたちは丸暗記で凌ぐ道もありますが、先生方はそうはいきません。皆で先生方に準備の時間を確保していただけるように、時間と予算の配当を増やしてあげましょう。

※1 学校への予算を配当と言います。

※2 朝日小学生新聞(2018年6月9日号による)

市長コラム (2018年8月号に掲載)

市長コラム 災害に備えて

大阪北部地震の復旧も道半ばのところ、平成30年7月豪雨により、西日本各地で多くの方々がお亡くなりになりました。8月のお盆には、皆さまとともにご冥福をお祈り致します。

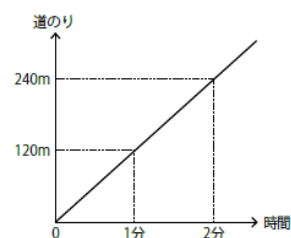
夏休みのお子さんの宿題や夏期セミナーにも出てきそうなグラフを、小学生新聞で見かけましたので、先月号に続いて紹介しましょう。私どもの年代からは、中学生の学習を今は小学生で!と、心強いものです。



このグラフは災害対策として、子どもたち自身が台風の到来日時や避難の所要時間などの情報を共有するのに便利です。グラフの力は偉大です。

一方安全確保には、計算と同様に河川に関する最低限の専門用語を知っておくことも必要です。

国土交通省ホームページ内の「水管理・国土保全」のサイト内には、「河川に関する用語」がモデル図とともに掲載されています。



▲毎日小学生新聞に掲載されたグラフ

最近では国土交通省の観測システムも高度化し、担当部門が水位情報などを詳細に把握していますが、我々市民が目撃した状況を連絡することも大事です。

右岸・左岸・川表・川裏・河川区域・高水敷・低水路・堤地内・堤地外などの専門用語で、行政担当者に連絡していただければ、より迅速・的確な対策をとることが可能になります。

親子で学ぶ、夏休みのテーマにしてみてもいいでしょうか?

市長コラム（2018年9月号に掲載）

市長コラム スマ報告

効果バツグン！

7月28日に、リニューアルオープンした美術館で企画展「ターナー 風景の詩」を鑑賞しました。照明機器の更新で、名画の真実がよみがえります。

企画展は、9月9日まで開催しています。ぜひご来館いただき、最新照明の下の美をご堪能ください。

（関連8ページ）



「ストーンヘンジ、ウィルトシャー」
1829年 エッチング・
ライン・エングレーヴィング・紙

2019年度の予算確保を目指して



8月7日に台風予報を見極めながら上京し、災害対策などに関して、中央省庁に要望しました。訪問先は、(写真上から)国土交通省、総務省、環境省そして復興庁。対応いただいた局長さん方は、映像による報告にも快くご協力くださいました。今やスマホ、インスタ時代。当コラムにも活用していきます。要望内容については、市ウェブサイトをご確認ください。



主な要望項目

- ・社会資本整備総合交付金について
- ・郡山連携中枢都市圏形成にかかる支援について ほか9件



市長コラム（2018年10月号に掲載）

市長コラム 拾いモノ

世界的にも著名な経済誌「エコノミスト」社が毎年発表する「世界で最も住みやすい都市ランキング」によると、2018年の1位は、ウィーン(オーストリア)でした。安全性(治安)、医療、文化・環境、教育、インフラの5項目で評価されるそうです。

当市が、引き続き「東北の『ウィーン』」を標榜するのであれば、音楽のみならず、世界的な観光地でもあるウィーンの都市インフラや治安の良さなど、他の項目



も見習うことが求められましょう。取り急ぎ見習える項目は、「割れ窓理論」で考えれば「街の清潔さ」ではないでしょうか。ゴミのないきれいな場所にゴミは捨てられません。

8月某日の早朝、郡山駅東口周辺で

清掃ボランティア活動に参加しました。終了後、富久山町の自宅まで約3kmを、歩く道々ゴミ拾い。成果は写真のとおりで、結構落ちていたものです。

市では、幹線道路の一部を地元企業・団体の皆さんに維持管理してもらおう「アイラブロード事業」を推進していますが、中学生以上の市民が、道路の美化やゴミ拾いを心掛ければ、29万人のゴミ拾いとなり、「29万人のアイラブロードの街」になりましょう。

音楽上達のための読譜・暗譜の道は難行苦行ですが、わが街・わが道のゴミ拾いは、街を思う気持ち、きっかけさえあれば可能です。

古人曰く「捨てる神あれば拾う神あり」と。願わくは、拾う神になりましょう。ただし、「拾得物」は交番へお届けください。



▲飲み物やお菓子の袋、ビニール、プラスチックゴミ